感染症発生動向調査
2022年第3週
（1月17日～1月23日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（ 京都市衛生環境研究所 ）

https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が5,382例（男性2,467例（10歳代332例，20歳代670例，30歳代312例，40歳代319例，50歳代251例，60歳代136例，70歳代111例，80歳代35例，90歳代9例，100歳以上1例，年齢非公開291例），女性2,543例（10歳代347例，20歳代670例，30歳代350例，40歳代381例，50歳代239例，60歳代108例，70歳代89例，80歳代71例，90歳代27例，100歳以上4例，年齢非公開257例），性別非公開372例（10歳代2例，20歳代1例，年齢非公開369例）あり，本年の累積報告数は8,050例になりました。

本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
〇新型コロナウイルス感染症　最新の動向
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html

・ **新型コロナウイルス感染症**の急激な感染拡大に伴い，令和4年1月27日から2月20日まで京都・大阪・兵庫の関西3府県を含む18道府県に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等重点措置が公示されました。1月27日時点で，あわせて34都道府県がまん延防止等重点措置の対象となっています。
本市は新型コロナウイルス感染症が著しく流行しています。正しいマスクの着用，こまめな手洗いや消毒とともに，三密を避ける，こまめな換気を行うなど，感染予防を心がけてください。

・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が1例（70歳代男性）ありました。本年初めての報告です。

・ **梅毒**の報告が1例（40歳代男性）ありました。本年初めての報告です。

・ **インフルエンザ**は，市内69の定点医療機関からの報告はありませんでした。全国でも報告数は極めて少なく（定点医療機関数約5,000から69例の報告），現在のところ流行の兆候はありません。
京都市のインフルエンザの発生状況は下記のホームページをご参照ください。
〇京都市のインフルエンザの発生状況（衛生環境研究所）
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html

・ **感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は7.56（325例）で，前週6.86（295例）から増加しました。年末年始に当たる第52週に大きく減少しましたが，その後4週連続して増加しています。現在のところ大きな流行とは言えませんが，冬期にはノロウイルスが流行するため，引き続き動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス：＜性感染症＞

性的接触で感染する感染症を性感染症といい，多くの疾患がありますが，そのうち，性器クラミジア感染症，性器ヘルペスウイルス感染症，尖圭コンジローマ及び淋菌感染症の4疾患は，感染症法上，五類感染症の定点把握感染症に指定されています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

・**二類：結核 6例（肺結核 2例，その他結核 3例，潜在性結核感染者 1例）うち喀痰塗抹陽性 なし）**
【1月以降の累積報告数 12例（肺結核 2例，その他結核 6例，潜在性結核感染者 4例）うち喀痰塗抹陽性 なし】
・**新型コロナウイルス感染症 5,382例**【1月以降の累積報告数8,050例】
・**五類：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例**【1月以降の累積報告数 1例】
・**五類：梅毒 1例**【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

（市内定点数　インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ	0．00	0
小児科 （降順5位まで）	① 感染性胃腸炎	7．56	325
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0．26	11
	③ 手足口病	0．23	10
	④ 咽頭結膜熱	0．19	8
	⑤ 突発性発しん	0．12	5
眼科	流行性角結膜炎	0．10	1

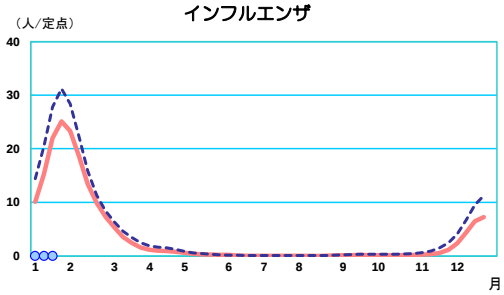
【次ページ以降の主な内容】
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス：＜性感染症＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

（ 注 ）京都市のデータは，2022年1月26日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

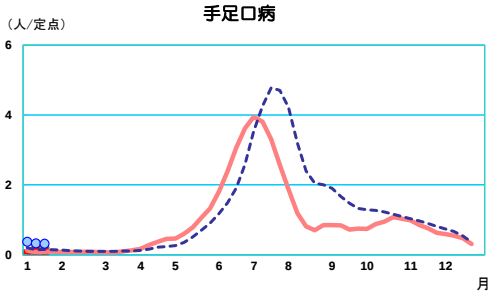
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2022年）

京都市_本年　京都市_過去5年平均値
全国_本年　全国_過去5年平均値

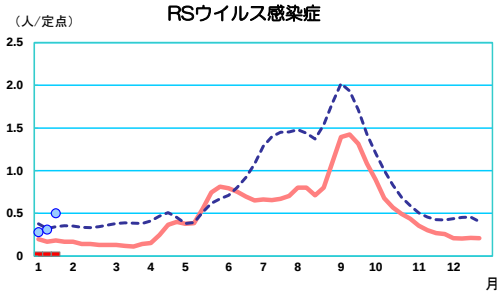
インフルエンザ



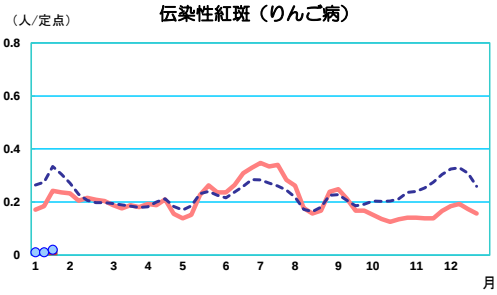
手足口病



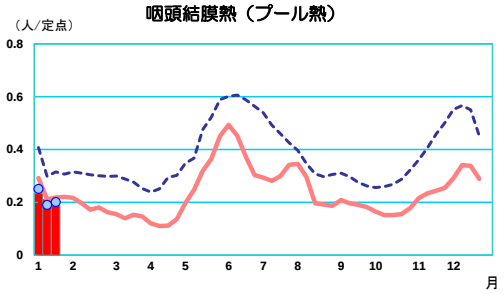
RSウイルス感染症



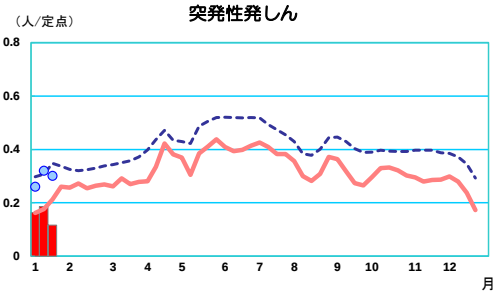
伝染性紅斑（りんご病）



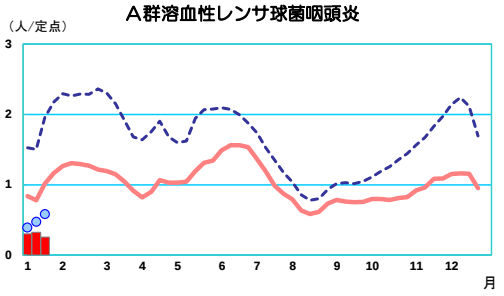
咽頭結膜熱（プール熱）



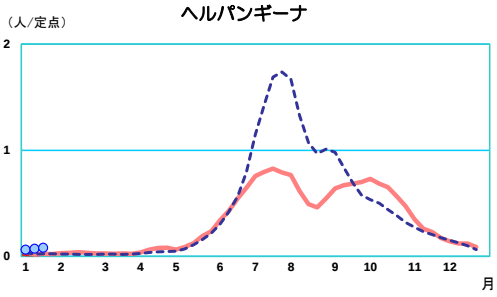
突発性発しん



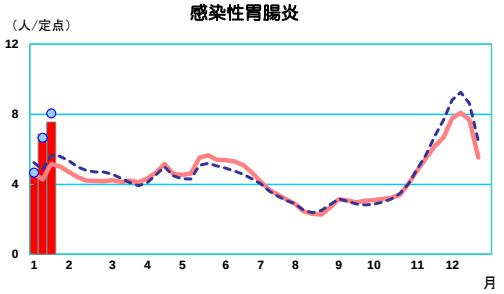
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



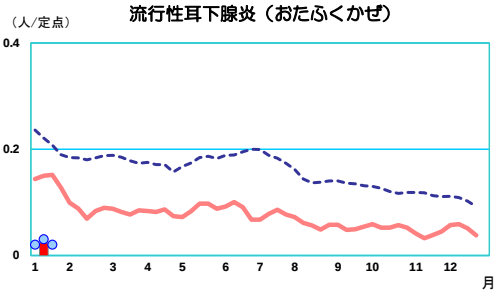
ヘルパンギーナ



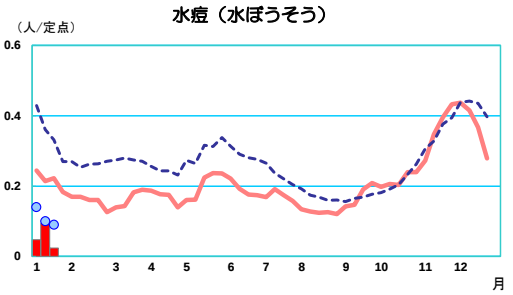
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）

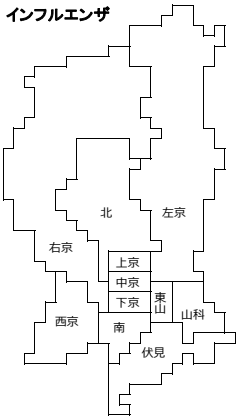


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図　【２０２２年 第 3 週】

発生なし
発生あり
注意報
警報
（注意報及び警報の基準値は感染症右側に表示（「-」は設定なし））

定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして，定点当たり報告数は医療機関の立地条件や
規模の大小の影響を受ける場合がありますので，ご注意ください。

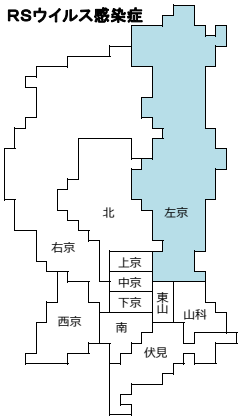
インフルエンザ



警報開始 30
警報終息 10
注意報 10

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

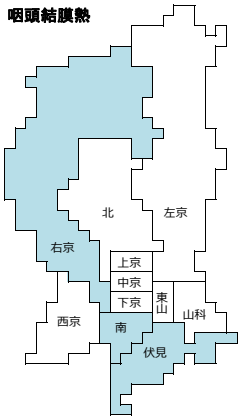
RSウイルス感染症



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.05	
北	0
上京	0
左京	0.50
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

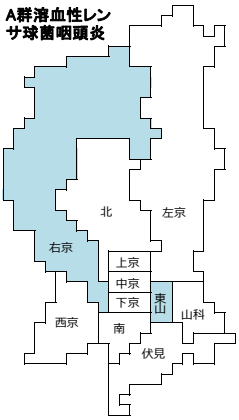
咽頭結膜熱



警報開始 3
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.19	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0.33
右京	1.00
伏見	0.29
西京	0

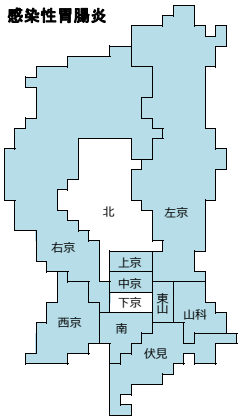
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



警報開始 8
警報終息 4
注意報 -

京都市 0.26	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0.50
山科	0
下京	0
南	0
右京	2.00
伏見	0
西京	0

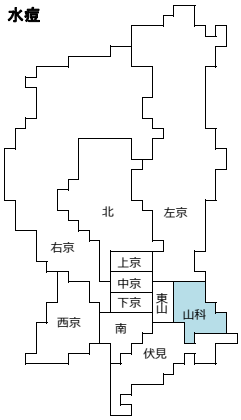
感染性胃腸炎



警報開始 20
警報終息 12
注意報 -

京都市 7.56	
北	0
上京	4.33
左京	7.50
中京	2.67
東山	7.00
山科	0.80
下京	0
南	6.00
右京	17.40
伏見	12.86
西京	12.20

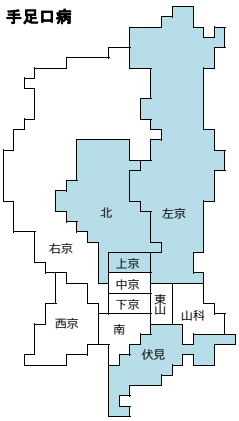
水痘



警報開始 2
警報終息 1
注意報 1

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

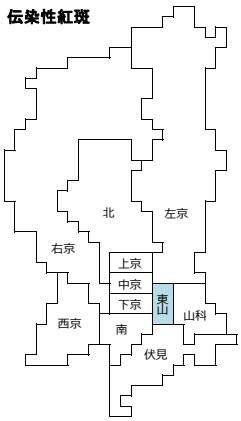
手足口病



警報開始 5
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.23	
北	0.25
上京	0.33
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	1.00
西京	0

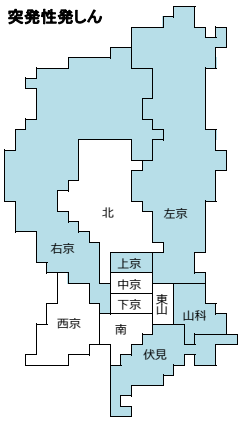
伝染性紅斑



警報開始 2
警報終息 1
注意報 -

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0.50
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

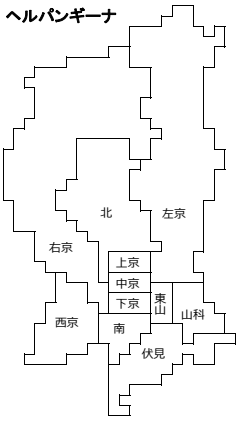
突発性発しん



警報開始 -
警報終息 -
注意報 -

京都市 0.12	
北	0
上京	0.33
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0.14
西京	0

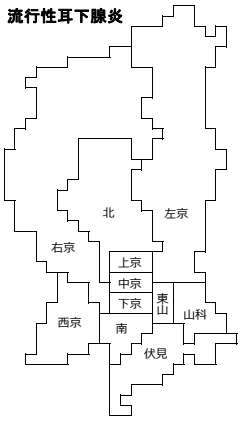
ヘルパンギーナ



警報開始 6
警報終息 2
注意報 -

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

流行性耳下腺炎



警報開始 6
警報終息 2
注意報 3

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

第3週（1月17日～1月23日）トピックス：＜性感染症＞

性的接触で感染する感染症を性感染症といい，多くの疾患がありますが，そのうち，性器クラミジア感染症，性器ヘルペスウイルス感染症，尖圭コンジローマ及び淋菌感染症の4疾患は，感染症法上，五類感染症の定点把握感染症（性感染症定点医療機関が月単位で報告）に指定されています。京都市では13（産婦人科7，泌尿器科4，皮膚科2），全国では約1,000の定点医療機関から毎月報告があります。一方，梅毒及び後天性免疫不全症候群の2疾患は五類感染症の全数把握感染症に指定されており，診断した全ての医師から報告があります。これら6疾患の2021年の動向を過去10年間と比較しました。

まず，定点把握感染症4疾患の推移を見ると，性器クラミジア感染症は，京都市では増減はあるものの減少傾向でしたが，2021年はやや増加しました。全国ではおおむね横ばいでしたが，2018年から増化傾向が顕著です（図1）。性器ヘルペスウイルス感染症は，京都市では2014年まで減少傾向，2015年以降は増減を繰り返し，2021年は前年比微増でした。全国では期間を通じてほぼ横ばいです（図2）。尖圭コンジローマは，京都市では2017年に半減した後は傾向が定まらず，2018年と2019年は2年続けて増加，2020年は一転して半減し過去10年で最少，2021年は微増でした。全国ではおおむね横ばいです（図3）。淋菌感染症は，京都市では横ばい，全国では横ばいないし微減傾向にありましたが，2021年は増加しました(図4)。2012年以降は京都市の定点当たり報告数は，どの感染症も全国を下回っています。

次に，全数把握感染症である梅毒と後天性免疫不全症候群の推移を見ると，梅毒は，京都市では2013年までは10例を下回っていましたが，2014年に10例を上回って以降，急速に報告数が増えて，2017年は71例となりました。2018年から3年連続減少，2020年は61例でしたが，2021年は増加に転じ78例でした。全国では2013年に1,200例を超えてから京都市同様に急速に増加し，2018年は7,000例を超えました。2019，2020年と2年続けて減少しましたが，2021年は増加して7,873例でした。2021年は京都市・全国とも感染症法施行以降最多でした（図5）。後天性免疫不全症候群は，京都市では例数が少なく傾向の判断は難しいものの，2018年以降は減少して2021年は4例にとどまり，期間で最も少ない報告でした。全国では2014年以降ゆるやかな減少傾向です（図6）。

2021年は1，5，8月にそれぞれ第3，4，5波の新型コロナウイルス感染症の流行があり，人々の社会活動や衛生行動が大きく変化しました。そうした中でインフルエンザやRSウイルス感染症など動向が劇的に変化した感染症がある一方，いずれの性感染症も動向が極端に大きく変化しておらず，梅毒が増加に転じていることは特に注目されます。性感染症については，今後も発生動向の観察やその評価を慎重に行う必要があります。これらの感染症は主に性行為という限られた経路で感染するため，社会構造や経済状況の影響も大きく，発生を抑制するためには，他の感染症と異なる対策も必要になると考えられます。

図１　性器クラミジア感染症

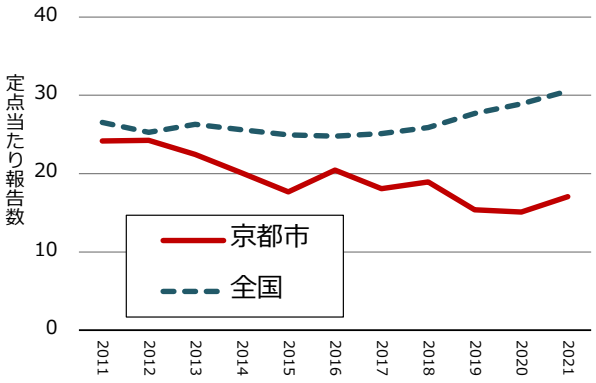


図２　性器ヘルペスウイルス感染症

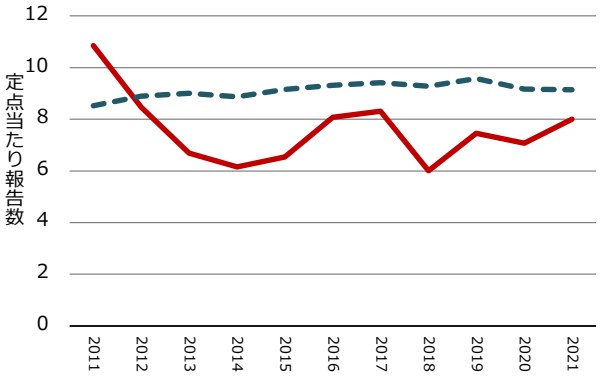


図３　尖圭コンジローマ

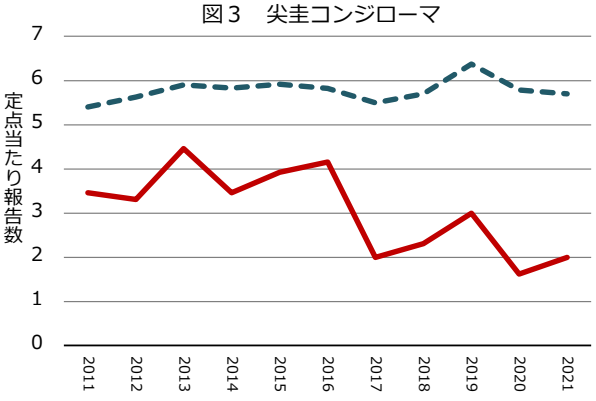


図４　淋菌感染症

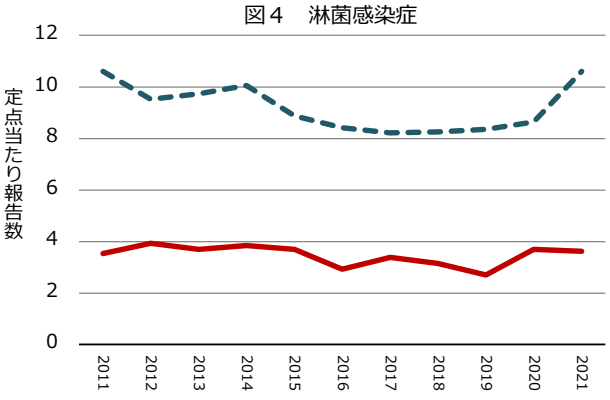


図５　梅毒

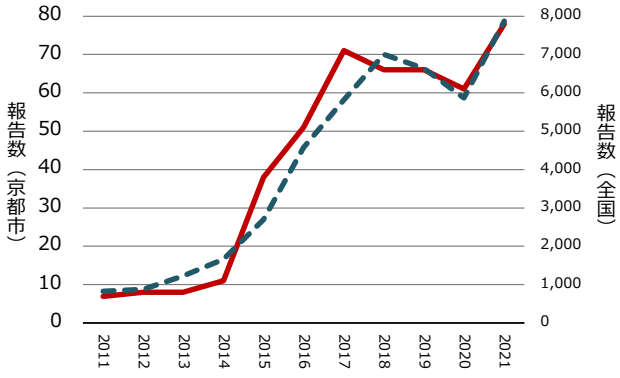
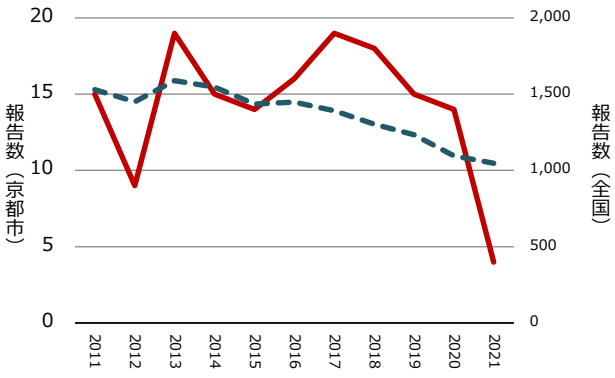


図６　後天性免疫不全症候群



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第3週

疾病,行政区別報告数　　2022年1月17日～2022年1月23日　　データ入手日:2022年1月26日

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	13	－	1	－	1	－	－	－	－					
左京	－	2	－	－	30	－	1	－	1	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	1	14	－	－	1	－	－	－							
山科	－	－	－	－	4	1	－	－	1	－	－	－	1					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	1	－	18	－	－	－	－	－	－							
右京	－	－	5	10	87	－	－	－	1	－	－	－	－					
伏見	－	－	2	－	90	－	7	－	1	－	－	－	－					
西京	－	－	－	－	61	－	－	－	－	－	－	－	－					
京都市計	－	2	8	11	325	1	10	1	5	－	－	－	1	－	－	－	－	－

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	－	－	0.25	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	－	4.33	－	0.33	－	0.33	－	－	－	－					
左京	－	0.50	－	－	7.50	－	0.25	－	0.25	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	2.67	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	0.50	7.00	－	－	0.50	－	－	－							
山科	－	－	－	－	0.80	0.20	－	－	0.20	－	－	－	1.00					
下京	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	0.33	－	6.00	－	－	－	－	－	－							
右京	－	－	1.00	2.00	17.40	－	－	－	0.20	－	－	－	－					
伏見	－	－	0.29	－	12.86	－	1.00	－	0.14	－	－	－	－					
西京	－	－	－	－	12.20	－	－	－	－	－	－	－	－					
京都市計	－	0.05	0.19	0.26	7.56	0.02	0.23	0.02	0.12	－	－	－	0.10	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京 都 市 感 染 症 発 生 動 向 調 査 情 報

集計対象:2022年第3週

年齢階級, 疾病別報告数

2022年1月17日～2022年1月23日

データ入手日:2022年1月26日

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		8	-	-	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		11	-	-	3	-	2	1	2	2	-	-	-	1	-	-						
感染性胃腸炎		325	2	17	54	64	48	26	20	17	9	9	11	20	5	23						
水　　痘		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
手 足 口 病		10	-	-	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		5	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月 ～5ヶ月 0歳	～11ヶ月 ～11ヶ月 ～11ヶ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽 頭 結 膜 熱		0.19	-	-	0.07	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.26	-	-	0.07	-	0.05	0.02	0.05	0.05	-	-	-	0.02	-	-						
感染性胃腸炎		7.56	0.05	0.40	1.26	1.49	1.12	0.60	0.47	0.40	0.21	0.21	0.26	0.47	0.12	0.53						
水　　痘		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-						
手 足 口 病		0.23	-	-	0.09	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝 染 性 紅 斑		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.12	-	0.02	0.05	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1　インフルエンザは, 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが, 新型インフルエンザのうち, A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌, 肺炎球菌, インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2022年第3週

週，疾病別報告数　　データ入手日:2022年1月26日

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	1	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	1	4	2	2	2
咽 頭 結 膜 熱	7	10	4	10	9	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	19	5	13	14	11
感染性胃腸炎	443	452	176	206	295	325
水　　痘	4	–	6	2	4	1
手 足 口 病	83	60	24	6	11	10
伝 染 性 紅 斑	–	–	–	–	–	1
突発性発しん	9	9	5	7	8	5
ヘルパンギーナ	6	13	9	1	1	–
流行性耳下腺炎	1	1	2	–	1	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	2	2	2	–	–	1
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合　　計	564	568	237	247	345	364

週，疾病別定点当たり報告数

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	0.01	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	0.02	0.09	0.05	0.05	0.05
咽 頭 結 膜 熱	0.16	0.23	0.09	0.23	0.21	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21	0.44	0.12	0.30	0.33	0.26
感染性胃腸炎	10.30	10.51	4.09	4.79	6.86	7.56
水　　痘	0.09	–	0.14	0.05	0.09	0.02
手 足 口 病	1.93	1.40	0.56	0.14	0.26	0.23
伝 染 性 紅 斑	–	–	–	–	–	0.02
突発性発しん	0.21	0.21	0.12	0.16	0.19	0.12
ヘルパンギーナ	0.14	0.30	0.21	0.02	0.02	–
流行性耳下腺炎	0.02	0.02	0.05	–	0.02	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	0.20	0.20	0.20	–	–	0.10
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合　　計	13.27	13.35	5.67	5.74	8.02	8.54

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。

※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。